

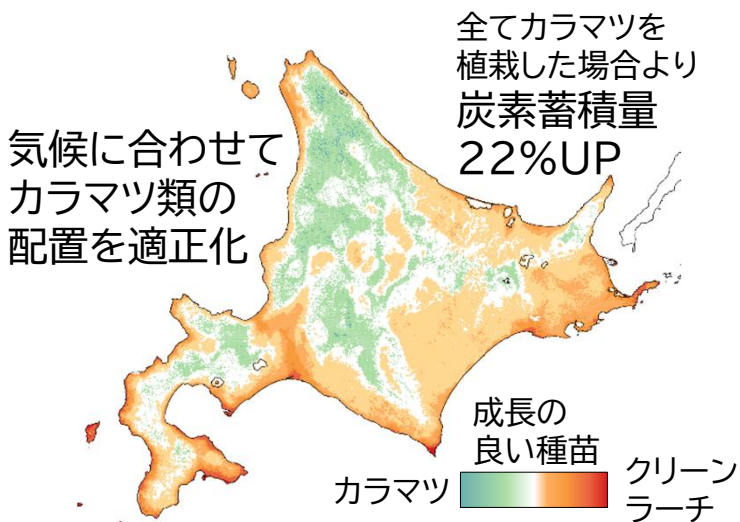
将来気候に対応した人工林の更新シナリオ

背景

人工林の炭素吸収量の増加に向けて、将来の気候に対応したカラマツ類及びトドマツ人工林の更新シナリオの提示が求められている。

成果

1 将来気候に適した種苗配置



期待される効果

選抜品種の現地への普及やゼロカーボン北海道への反映による炭素吸収量の増加が見込まれる。

共同研究機関（協力機関）：（国研）森林総合研究所北海道支所、（国研）森林総合研究所林木育種センター北海道育種場、東京大学（北海道水産林務部、北海道山林種苗協同組合、北海道森林組合連合会）

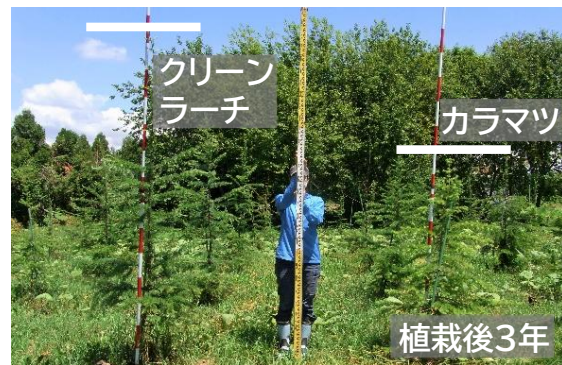
2 炭素吸収量の高い種苗選抜

選抜対象：トドマツ

項目	幹材積 (m³)	材密度 (1/mm)	炭素吸収量増加率
選抜 個体 平均	221%	113%	251%

※ 十勝地方の43年生次代検定林にて、炭素吸収量増加率の大きさを基準に選抜した優良木7本の結果。
 ※ 数値は改良効果（選抜個体平均/林分平均）を示す。

3 更新シナリオ別の炭素吸収量



クリーンラーチ：特定のグイマツとカラマツを交配させたカラマツ類の雑種で、優れた炭素固定能を有する

